

栃木県知事

福 田 富 一 様

街頭防犯カメラの設置に対する支援要望

栃 木 県 市 長 会

栃 木 県 町 村 会

街頭防犯カメラの設置に対する支援について

近年、都市化や情報社会の進展などの社会情勢の変化、社会的な規律意識の低下、地域社会の連帯感の希薄化などにより、身近な場所での犯罪が多数起こっております。

こうした防犯対策の一環として「街頭防犯カメラ」の設置は犯罪抑止には効果的であり、犯罪の予防や未然防止に対する期待から通学路や駅周辺への設置を求める住民の声は少なくありません。

こうしたことから、一部の市町では自ら街頭防犯カメラを設置する、または防犯カメラを設置する自治会等への補助を行うなど、官民一体の防犯体制の構築に取り組んでいるところではありますが、市町による防犯カメラの設置は財政負担の増加等の理由により進んでおりません。

つきましては、県財政も厳しい状況と認識しておりますが、住民の安全安心を確保するとともに「安全・安心の地域づくり」に県全体で取り組むことにも繋がりますので、街頭防犯カメラの設置費用に対する補助制度の創設、さらには警察による街頭防犯カメラの設置について要望いたします。

平成26年11月12日

栃木県市長会長 佐藤 栄一

栃木県町村会長 古口 達也